









しょうぶだにいけ
菖蒲谷池
管理者 菖蒲谷田主

















ここから水が
溢れ出す
ため池での浮遊禁止
DANGER NO. 4 2011.10.08

しょうぶだにいけ
菖蒲谷池
管理者 菖蒲谷田主

菖蒲谷池改修記念碑

溜池の沿革

当地域の水稲栽培は 鎌倉末期にその端を
発し 河内谷川（現本庄川）より自然取水し
ていたが 江戸初期より急速な水田開発が進
み 用水確保のため菖蒲の谷を封じ池を造成
し菖蒲谷池と名づけた

その後度重なる水害のため再三決壊し そ
の都度復旧を余儀なくされた 江戸末期（西
暦一八三〇年代）に至り 石張り余水吐を有
し 止水のため刃金土を挿入した木格的堰堤
に改修した 爾来 田主員一致協力してこの
池を守り 農業用はもとより地域の生活用水
の源として重要な役割を果たして来た

今回下流に多目的ダム「本庄川ダム」を建
設するに当たり このダムの洪水調節時に堤
の大部分が水没するため 池の老朽化対策と
合わせ 平成五年十二月改修協定の締結がな
され 重力式コンクリート堰堤の築造に着工
平成七年に完成の運びとなった

ここにその大略を記し竣工記念とする

平成八年三月吉日

兵庫県洲本土地改良事務所

所長 太田 厚 謹書







